

## 久しぶりの講習会

この度、中国・四国支部主催でOR講習会を開催した。今回の「支部だより」は、4年ぶりの講習会の顛末を報告したい。(東洋工業 川畑隆一)

早いもので前回の講習会から、はや4年が経った。「OR講習会を今年は、やろうではないか」という声が出て、それでは何をどうやるかと検討を重ねること数回。企業活動の諸分野におけるORの考え方、適用という軸でいこうということで決まった講習内容はつぎの通り。

1. オペレーションズ・リサーチとは  
(広大) 青木兼一氏
2. モデルづくりについて  
(中国電力) 権藤 元氏
3. 販売のOR  
(宇部興産飲料) 藤永靖彦氏
4. 生産のOR  
(広大) 平木秀作氏
5. 在庫のOR  
(宇部興産) 鈴木茂太郎氏
6. 財務のOR  
(宇部興産) 石田 甫氏
7. 設備のOR  
(中国電力) 二井谷 進氏
8. 企業活動のシミュレーション  
(東洋工業) 岡崎一紘氏, 長瀬徹郎氏
9. 電子計算機 (DEMOS—E) 実習  
(中国電気通信局) 平野幸雄氏

まず、ORの考え方を説明し、個別分野での方法・事例に展開し、企業活動全体のシミュレーションで縮めくり、最後に、講習に出てきた例題を DEMOS—E を利用して解いてみようという筋書きである。

各講師の守備範囲と方法の按分を決めて、講習内容のスケッチを交換・討議し、全体の絵を仕上げた。

「あとのバリエーションは それぞれの持ち味で……」ということで、さて本番。

講習会の実施は8月20日から28日の間の5日間。地元の製造販売業からコンサルタント会社、公社まで各社からの受講者26名の参加を得てちょうどいい規模の講習会となった。

実施後のアンケート結果および講師陣・支部幹事会メンバーによる反省会から、今回の講習会を総括してみるところのようになるろうか。

1. 全体としては、まず成功であろう。

このような場があることそのもののもつ意義の他に、今後この方面の勉強をして実務に活用しようという雰囲気であった。

2. 受講者のレベル差が大きい。

当然といえば当然だが、本講習会でも「もっともっと基礎からやれ」という声と「基礎はいいから最新の成果を詳しくやれ」という声が双方存在する。案内に、ねらい、受講対象を明記することで幾分避けられるかも知れない。

3. 講習内容のレベル合わせにもう少し時間をかけよう。

お話部分と厳格な部分のバランスを各テーマを通して統一する必要がある。

4. 久しぶりということで講師、受講者ともに力みすぎか。

具体的には 風呂敷が大きすぎて(または内容がつまりすぎて)これだけの期間では未消化に終わった部分がありはしなかっただろうか。いや、広い分野の企業、団体から参加しているのだからこれでいいという考え方もあって、功罪相半ばというところか。

講習会をやり終えて、気分的にはほっとした反省会の席上、大先輩のORらしからぬ(あるいは最もORらしい)コント、名唱もでて、若手講師の1人から大先輩への質問は、

「ところで、ORとは一体何でしょうか？」

## 会員名簿ができます

先に皆様よりお送りいただいた名簿作成資料にもとづき、現在名簿発行の準備をすすめており、12月にはでき上る予定です。頒布は希望者のみとさせていただきますので、学会事務局 (03-815-3351) までお申込みください。(頒布価格 1000円)